

「だったらどうして、『無線LANにつながりません』なんて言うんだ!」。新幹線(N700系)で、私の後ろの客が車掌に向かって怒っている。たしかに、パソコンを開いて「利用できるワイヤレス・ネットワークの選択」を表示すると、商業系の四つの会社のマークがあるが、接続しようとしてもパスワードを要求される。どうやら、事前にそれらの通信会

## インターネット接続

社の会員になって契約を結ぶ必要があるようだ。乗車後、その場で無料あるいは有料(クレジットカード払い)で利用できる仕組みではない。新幹線に乗ってしまってからでは手遅れ。客が怒るのはもったもた。

ビジネス界の常識からすると、新幹線(N700系)で繰り返しいる、「無線LANに接続してインターネットをご利用になれます」というアナウンスは、不親切だ。

世界の空港のラウンジでは、「インターネ

東京大教授

伊藤 隆敏

ットにつながる」という場合には、3種類のサービスがありうる。第一に、完全な無料サービス(利用規則に合意すれば直ちにインターネットに接続)、第



ジットカード払いするのと1時間(2000円程度で24時間)使えるパスワードを発行されるものである。

アメリカでは、町全体で、どこでも無線LANが使えるようなところもある。最初の15秒間はコマーションを見せられた後、完全無料で接続する。

二に、商業サービスだが、ラウンジでパスワードを渡され、それを入力すると無料で使えるもの。第三に、商業ベースでネット上で、1000円程度、クレアが望まれる。

JR東海も、世界標準にあわせた無料サービスを展開するのか、有料クレジットカード払いを工夫するのか、誤解を招くアナウンスをやめるか、早急な対応が望まれる。